



第 61 号(平成 29 年 2 月 27 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ  
特別隊員

## 島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難の代表的な事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 29 年中の山岳遭難発生状況(平成 29 年 1 月 1 日～2 月 19 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 29 年	23	5	2	10	15	32	12
内)BC	13			5	15	20	12
平成 28 年	14	3		6	11	20	7
内)BC	3				9	9	7
前年同期比	9	2	2	4	4	12	5
内)BC	10			5	6	11	5

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北 アルプス	槍穂高	2	8.7%		1	1	2
	後立山	6	26.1%		1	4	6
	その他	1	4.3%			1	1
	計	9	39.1%	0	1	5	9
中央アルプス	2	8.7%	1	1			2
南アルプス	1	4.3%	1				1
八ヶ岳連峰	5	21.7%	3		4		7
その他の山岳	6	26.1%			1	12	13
計	23		5	2	10	15	32

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
2月15日	木曽駒ヶ岳	22	男	疲労・凍死傷	死亡	木曽駒ヶ岳頂上付近で低体温症により、死亡

15日、中央アルプス木曽駒ヶ岳で、「男性が祠(ほこら)で行動不能となっている」との山岳遭難を受理し、静岡県警のヘリで救助しましたが、男性の死亡が確認されました。



2月18日	白馬乗鞍岳	36	男	その他	負傷	天狗原下部でバックカントリー中に、立木に衝突、負傷
-------	-------	----	---	-----	----	---------------------------

18日、白馬乗鞍岳で、男性Aさん36歳ら4人が、バックカントリースキーで滑走中、Aさんが立木に衝突して負傷する山岳遭難が発生し、19日、県警ヘリで救助しました。



内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

\* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝